

# へきけんニュース

ホームページ [https://www.hokkyodai.ac.jp/edu\\_center\\_remoteplace/](https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/)

メールアドレス [kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp](mailto:kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp)

☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292



背景は北海道教育大学旭川校

## 令和6年度 北海道へき地・複式教育研究連盟

### 定期総会が開催されました

-教育委員会・大学・校長会等の相互の連携や

研修事業の拡大が確認されました-

北海道へき地・複式教育研究連盟

事務局次長(広報担当)

道下 誠(泊村立泊小学校長)

令和6年度北海道・へき地複式教育研究連盟の定期総会は、5月10日（金）に、ホテルライフオーツ札幌で開催されました。ご来賓として、北海道教育庁学校教育局長 伊藤伸一様、北海道立教育研究所長 川端香代子様、北海道教育大学副学長 玉井康之様をはじめ、北海道小学校長会、北海道中学校長会、道へき複連OB会、日本教育公務員弘済会から7名のご臨席を頂きました。



この総会において、今年度の活動方針等が承認されております。なお、活動の具体的内容につきましては、次頁の通りになっています。



北海道・へき地・複式教育研究連盟の令和6年度新委員長は、温泉敏委員長から、小野田年克委員長(幕別町立明倫小学校長)に交代しました。

◀ 右端 小野田年克 新委員長

## 1 「へき地性」「小規模校」「複式形態」の3特性を生かした教育の充実を図るための研究活動をより一層強力に推進する

- (1) 第Ⅱ期第10次長期5か年研究推進計画1年目として、実践研究検証に取り組む。
- (2) 課題別・共同研究の深化と拡充に努める。
- (3) 第73回全道へき地複式教育研究大会上川大会1stステージの成功に向けて取り組む。
- (4) 第74回全道へき地複式教育研究大会上川大会Finalステージの次年度実施に向けた取組を推進する。
- (5) 全道、各地区の研究成果の環流に努める。

## 2 組織の強化と充実に努める

- (1) 各地区へき・複連との連携、組織の強化に努める。
- (2) 事務局業務の効率化と情報・要請活動の活発化を図るとともに、組織知性の改善について検討する。
- (3) 各部活動の連携を密にして、執行体制の見直しを図る、その強化に努める。
- (4) 未加盟校及び非複式のへき地小規模校の加盟促進を図る。
- (5) 組織検討委員会を継続設置し、組織体制の改善・財政上の諸課題の解決を図る。
- (6) 適切な予算執行に努める。



◀ 会場の様子

## 3 教育条件の整備と拡充に努める

- (1) へき地・小規模・複式学級を有する学校の一層の条件整備を進める。
- (2) 教職員の待遇改善を図る運動を進める。
- (3) 次の改定に向けて新へき地学校等級別指定に係る調査・要望活動を進める。
- (4) へき地・小規模・複式学級を有する学校及び地域の諸課題等の実態把握に努め、その対策について検討を図る。

## 4 関係機関・関係団体との連携を一層強化する

- (1) 道教育委員会、道立教育研究所、道小学校長会、道中学校長会、北海道教育大学へき地小規模校教育研究センター、道教育大学各校、全へき連、道へき・複連OB会、道P連等との連携を密にして、研究活動の深化や条件整備、待遇改善に努める。
- (2) 「全へき連HP」への寄稿協力及び活動の啓発に取り組む。
- (3) 各関係機関、関係団体との成果、資料の交流を図る。

### 研修会にて全道へき地・複式教育連盟 温泉敏顧問が、 「へき地・小規模校教育実践力向上CBT(Computer Based Training)」 について講演されました

#### 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

北海道へき地・複式教育研究連盟総会に引き続き、温泉敏北海道へき地・複式教育研究連盟顧問による役員研修会が開催されました。

研修会では、「へき地・小規模校教育実践力向上CBT ～その活用と今後について～」と題した講演が行われました。その中で、全国へき地教育研究連盟、北海道へき地・複式教育研究連盟と北海道教育大学と連携して新たに開発を行った「へき地・小規模校教育実践力向上CBT問題集」についての説明がありました。



▲講演される全道へき地・複式教育研究連盟 温泉敏 顧問



▲挨拶をするへき地・小規模校教育研究センター 玉井康之 センター長

また、講演の中で参加者全員にCBT問題集の演習を実施し、これからのへき地・小規模校に適応した実践力を向上させていくための有効な手立てについて確認することができました。

今後、初めてへき地・小規模校に勤務した教諭や管理職に問題集を配付し、取り組んでいただき、検証実践を進めてさらに充実したものにしていく予定です。

「へき地・小規模校教育実践力向上CBT」を800問作成しました。  
様々な学校で検証して、今後質量共に拡充していきます。

## 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

### 1「へき地・小規模校教育実践力向上CBT」の目的について

- ・へき地・小規模校に適応した実践力を向上させるため、へき地・小規模校の実践方法の特性を生かしたCBT問題集を開発し、以てへき地・小規模校の教師の実践力を向上させる。
- ・へき地・小規模校とそれ以外の学校とを比較したときに、児童理解・学級経営・学習指導・生徒指導等教師として求められる資質・能力は学校規模に変わらないし、学習指導要領で教科等の内容も基本的に共通であるにもかかわらず、へき地・小規模校への異動となると戸惑いが少なくない。
- ・その理由はへき地・小規模校では学習方法や学級経営塔の具体的な実践方法が異なることが考えられる。具体的には複式授業の「わたり」「ずらし」「同時間接指導」や学年一人の児童生徒の協働的な学びの方法等である。それらを解消していく手立ての1つとしてCBTの活用があると考えます。
- ・へき地・小規模校の教員数が減少していることで、先達から学ぶ機会も少なくなっている。現実には50代の教員でも「初めて複式授業をした」ということがまれではなくなっている。管理職になって初めて勤務したということも少なくない。
- ・さらに研修に出る機会も少ない現実がある。へき地教育振興法にある研修の保障をしていくためにも、CBTを活用することで短時間で効率的な研修が可能となる。
- ・今後のへき地・小規模校での勤務実態を鑑み、CBT問題の作成に取り組んだ。



### 2「へき地・小規模校教育実践力向上CBT」の今後について

- ・「CBT問題集」については、まだできたてであるため、今後、学生や教職員に施行実践を積み重ねていくことによって、へき地教育の養成・採用・研修の一体的な改革へと進めていく。